

『がん化学療法看護』

研修会実施報告

日時 : 令和5年 12月13日(水) 08:30~12:30

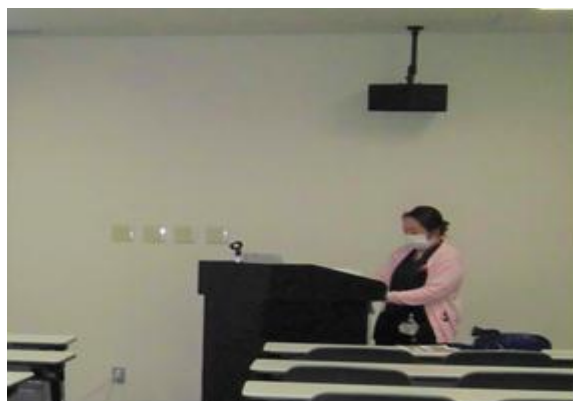
対象者 : ラダーレベルⅡをめざす者

参加者数 : 17名

目標 : 化学療法の治療と副作用を理解し、看護実践に活用することができる

<講師の紹介>

がん化学療法看護認定看護師
外来診療科
係長



<内容>



「がんの治療とがん化学療法薬の特徴」と「安全・確実・安楽な化学療法の実施」の講義では治療計画の理解や化学療法の流れに沿った看護、セルフケア支援について学び、講義後半では事例検討のグループワークを行いました。がんの種類に応じた治療ガイドラインによる標準治療、プロトコール（レジメン）の見方、がん薬物療法の過敏症や副作用等の講義がありました。プロトコールの見方では体重が抗がん剤投与量の基準になるため、正確に体重測定を行う事や薬剤投与における留意点を確認する等安全に化学療法を行うためには治療計画を把握し、プロトコールを正しく理解することが重要であると学びました。

受講生からは「抗がん剤の種類により起こる副作用は様々で患者さんの治療計画を把握しケアしていくことが大切であると学んだ」や「化学療法中の症状や訴えに目を向けがちであるが、表面にでてくる症状だけではなく、生活環境や周囲のサポート体制等にも目を向けて関わる事が大事と学んだ」等の意見がありました。がん化学療法を受ける患者への看護を振り返り、学び得た知識を他のスタッフと共有し、ケアしていきたいという前向きな意見が多くあり、研修での学びを実践の場で活かして頂きたいと思えます。